

高齢期の就業と引退のプロセス

高年齢者の職業生活から引退生活に至る過程において、就業と生活の実態、とくに健康と就業の状況、職業別職場改善の問題点、高齢期の職業移動、引退年齢と引退理由、ボランティアなど社会活動の状況等を調査し、高年齢期の雇

用、職業などの問題点を多角的、総合的に把握し分析したものである。

<研究委員>

- ・佐柳 武 雇用職業総合研究所顧問
- ・久米益夫 日本生産性本部参与
- ・井出上博 (財)高年齢者雇用開発協会 調査研究部長
- ・入江奎爾 (株)学生援護会 取締役経営企画室長

目次

- 第I章 就業から引退への課程
 - 第1節 高年齢者研究の今日的課題
 - 第2節 調査対象者の基本的属性

- 第II章 生活実態と社会活動
 - 第1節 高年齢者の生活実態
 - 第2節 社会的活動の状況

- 第III章 高年齢期における職業移動
 - 第1節 職業経歴と職業移動
 - 第2節 高年齢者の職業経歴
 - 第3節 引退者の職業経歴

- 第IV章 就業と引退に関する意識・行動
 - 第1節 就業継続志向と引退志向
 - 第2節 高年齢者の仕事に対する意識
 - 第3節 就業時間をめぐる意識と実態

- 第V章 引退過程における諸問題
 - 第1節 非就業者の就業・引退意識
 - 第2節 就業希望者の意識・行動
 - 第3節 高年齢者の引退に関する意識

- 第VI章 要約と今後の課題
 - 第1節 調査結果の要約
 - 第2節 今後の課題